

科目名 Subject Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
ホテル業概論 Introduction to Hotel Business		1年	後期	金曜日・3時限
単位数	授業の形態		授業の性格	
2単位	講義		選択 (観光ビジネス実務士必修科目)	
当該科目の理解を促すために受講することが望まれる科目				
観光学概論				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
観光ビジネス実務演習				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー	電話番号・メールアドレス	
伊藤 優子	講師室	金曜日	授業中に指示します	
授業の概要				
観光産業の中で宿泊業は不可欠な関連産業である。ホテルは宿泊することだけが目的でなく、食事、婚礼、地域や企業の集会、宴会など様々な場面で情報発信している。基本的な知識を構築し、関連部門を詳細に学ぶ。また東京都内でのホテル実地研修を実施し、講義で学んできたことをホテルの生の現場とホテルマンからの講義により理解を深める。ホテル研修は受講者全員が参加必須とする。				
授業の到達目標				
①ホテルとは何か、ホテルの基本的知識を習得できるようにする。②ホテルの歴史を把握できるようにする。③ホテルの現状と特性を把握できるようにする。④ホテル実務、ホテル部門の理解を深めることができるようにする。				
授業の方法				
教科書を中心に、ホテル関連部門、それぞれの業務、ホテルの歴史、国内外のホテルの現状などを講義形式で実施する。最終的にホテルでの実地研修を行い、現場での業務を実践的に学ぶ。				
学習の成果				
①ホテルの基本的知識を習得できる。②ホテルの歴史を把握し、ホテルの現状と特性を把握できる。③ホテル実務、ホテル部門の理解を深めることができる。④ホテル業界について理解し、ホテルスタッフの業務を実践できるような基礎を学ぶことができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ホテルの語源 ホテル業の基本的な性格			
第2回目	欧米におけるホテルの歴史			
第3回目	日本におけるホテルの歴史			
第4回目	ホテルの分類 経営特性			
第5回目	ホテル実務の基本とホスピタリティ			
第6回目	ホテルと旅館の違い 旅館業の基礎知識			

第7回目	宿泊部門の概要	
第8回目	料飲部門 調理部門の概要 レストランの種類	
第9回目	宴会部門の概要	
第10回目	ブライダル部門の概要 ブライダル付帯サービス	
第11回目	日本のホテルの現状 外資系高級ホテル ビジネスホテル	
第12回目	海外のホテルの現状 リゾートホテル タイムシェア	
第13回目	ホテル実地研修[1月中旬を予定、交通費を含む実費負担となります] (施設見学)	
第14回目	ホテル実地研修 (ホテルスタッフの動き、ホテル業務)	
第15回目	まとめ	
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	30%	授業に集中し、ノートをとっている。不明なことがあれば積極的に質問する。指名されたら自分の意見を述べるなどが評価の対象となる。
レポート	10%	ホテル研修参加後にレポートを作成し、現地で学んだことの理解度を図る。
調査報告書		
小テスト		
中間・学期末試験	50%	ホテル業、旅館業の基礎知識の理解度を図る。
発表内容 (態度含む)		
その他	10%	ホテル実地研修に参加する。
教科書と参考図書		
ホテル概論 (ジェイティービー能力開発)		
履修上の心得・ルール		
遅刻厳禁。私語はつつしむこと。授業途中で無断で退出厳禁。携帯電話使用禁止。飲食厳禁。ホテル実地研修は全員参加が必須となる。		